

2016 年度会員御希望の方へ

申込日 年 月 日

## 龍谷大学福祉フォーラム入会申込書

龍谷大学福祉フォーラムに、下記のとおり入会申込みをします。

フリガナ	
お名前	
ご住所	〒 -
電話番号	
E-mailアドレス	
ご職業	
属性	該当する□にチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 本学卒業生 <input type="checkbox"/> 本学学生
図書館利用カード	該当する□にチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
備考	ご質問・ご要望などありましたらご記入ください。

FAX: **077-543-7771**

**\*個人情報の取り扱いについて\***

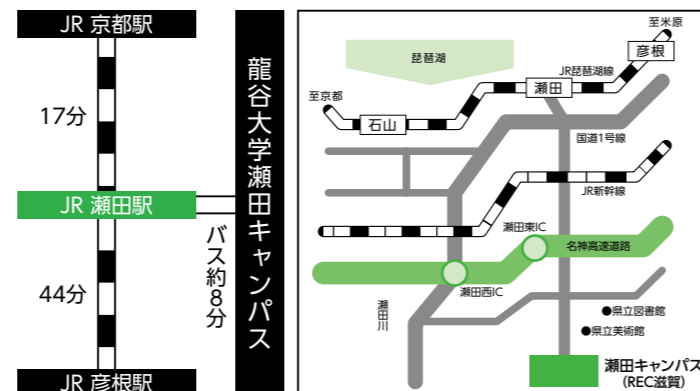
上記で伺いました個人に関わる情報は、個人情報保護法及びこれに準拠した学内の取り決めに従い、厳正に情報を管理し、本学事業以外には利用いたしません。

**お問い合わせ**

龍谷大学福祉フォーラム事務局 (REC 滋賀)

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5  
 Tel 077-544-7291 Fax 077-543-7771  
 E-mail r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp  
 ホームページ <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/>

JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車  
 帝産バス「龍谷大学」行き(約8分)  
 名神高速「瀬田西IC」(大阪方面から)  
 「瀬田東IC」(名古屋方面から)より  
 文化ゾーン方向へ車で約5分【駐車場有】  
 ※駐車台数に限りがあります。



# 福祉フォーラム通信



## 第14回専門セミナー

### 『支援困難ケースのアセスメントと チーム連携を考える研修会』

日 時：2016年3月19日(土) 13:00~16:00  
 会 場：本学瀬田キャンパスREC小ホール  
 講 師：山田 容 (本学社会学部准教授)  
 事例報告：桐高 とよみ 氏 (NPO法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじー)

3月19日(土)、龍谷大学福祉フォーラムでは、第14回専門セミナー『支援困難ケースのアセスメントとチーム連携を考える研修会』を本学瀬田学舎REC小ホールで開催しました。

権利擁護の支援を必要とする多くの方が、複雑で多岐にわたる課題を抱えており、高齢者をはじめ相談支援者の多くが解決の糸口を見いだせず悩んでいます。支援を必要とする方が、現在抱えている解決すべき問題点等の答えを導き出すための課題を分析するというアセスメントの基本を学ぶとともに、福祉職、医療職、司法職などが連携できる支援チーム作りの重要性を考えました。

まず始めに、NPO法人甲賀湖南成年後見センターぱんじーの桐高 とよみ 氏に「ぱんじーがめざす権利擁護支援」について御報告いただき、その後、本学社会学部 山田 容 准教授から「アセスメントとチームアプローチ」について講義および解説を行いました。

今回のセミナーには司法書士14名、福祉関係職21名の方が参加し、それぞれの視点を共有しながら異職種間のチーム連携を行うことによって、チームアプローチの重要性を再確認することができました。



**(参加者の声)**

- ★様々な職種の方のいろいろな視点に接することができ大変参考になった
- ★支援に関しチーム連携が重要であることを改めて感じる事ができた
- ★アセスメントの重要性が再確認できた
- ★他職種の方と意見交換をする機会がなかったので貴重な研修会だったと感じている。



これからの福祉を考える



山田 容 (本学社会学部准教授)

近年、待機児童や介護離職についてその深刻さがよく取り上げられており、保育士や介護福祉士など福祉現場で働く人達の労働条件の問題も併せて関心をもたれるようになってきました。

育児や介護は永く家族、特に女性が担ってきた仕事であり、日本の社会福祉政策は家族の責任と負担を基本に作られています。しかし、家族の構成員は減少し、共働きは増加し、所得も下がりがつつある状況で、家族は福祉力を低下させ、様々な問題となってあらわれ、女性の負担は更に増大しています。

その解決方法としては公的な福祉サービスの拡充がもっとも望まれます。しかし厳しい財政状況もあって有料のサービスの導入による対処が目立ちますが、そこに経済力による格差やサービスの質など

いくつもの新たな課題がうまれています。

これまで社会福祉が対象としてきたのは「社会的弱者」と言われる人たちでした。しかし今日、もはや誰もが何らかの「弱さ」を抱えていると言っても過言ではありません。「支え合い」は単なる理念ではなく切実な対応策になっています。

そこで求められるのは福祉課題についての社会と家族の関係性の見直しと新たなあり方の構築です。福祉フォーラムは、大学と地域をつなぎ共生社会を創出していきたくと考えています。社会という広がりの中で、地域の皆様の知見や実践をもとに大学の特性を活かしながら、「福祉=幸せ」について考える場でありたいと願っています。

「社会福祉」にとどまらないの学び場を提供する

筒井 のり子 (本学社会学部教授)

日本社会の自殺率は、他国に比べても高水準で推移しており、現代社会からの「孤立化」や「貧困」の問題にどう向き合うかが大きな課題となっています。また、昨今、都市部、農村部を問わず、少子高齢化の進展により人口が減少し、まちの機能を維持することが難しくなっている地域も出てきました。その他にも、安心して子育てできる環境をどのように作って行くのか、大規模災害から人々を守っていくにはどのように守っていくのかなど多くの課題が現代社会に生じています。

これらの現代社会が直面する課題に対応するには、社会福祉関係の機関や施設だけでなく、企業・商店街・農協・自治会・NPO、そして行政や学校等、多様な組織の存在が必要となってきます。また、それと同時に、これらの多様な組織で活躍できる人材を育成していくことが大学に求められています。

そこで、龍谷大学社会学部では、このような現代社会が求める新たな福祉的課題に対応出来る人材を輩出すべく、2016年4月より、これまで社会学部で展開してきた「地域福祉学科」と「臨床福祉学科」を統合し、新たに「現代福祉学科」を開設します。

新たな学科では福祉現場での高度な専門的援助ができる人材を育成する他に、地域社会の一員として、社会貢献していくための知識や方法を学び、「多様な領域で発揮できる社会貢献力」の養成や、社会福祉を基礎にして、障がい・貧困・虐待など様々な重荷を複合的に背負いながら学校に通う子どもたちに生きる力を育むことのできる教員養成などを行います。

これらの人材育成を通じて、現代社会に生じる新たな課題に対応していきたくと考えています。



フクシが変わる フクシで変わる

龍谷大学社会学部は、新たに現代福祉社会科を設立いたします。時代のニーズに合わせて、人や地域に寄り添いながら、「社会」を変える力を養成します。

2016年4月 龍谷大学社会学部現代福祉学科設置

2016年度前期龍谷講座

本学では現代社会の要請に応え、本学における研究の成果を地域社会に還元し、大学の社会的使命の一端を果たすことを目的として、1977年から龍谷講座を開講しています。今回のシリーズまでに788回の講座を無料で地域社会に開講し、多くの方に御受講いただいています。

龍谷大学社会学部現代福祉学科開設記念講座  
シリーズ 現代福祉を考える

無料  
事前申込不要

時間/13:30~15:00 定員/各講座200名  
会場/龍谷大学深草キャンパス  
21号館6階603教室  
※定員を超過した場合、入場いただけないこともございます。

〈第1回〉 No.788 5月14日(土)  
障害者福祉制度の  
これからの考える

樽井 康彦 (本学社会学部講師)

近年、わが国の障害者福祉の制度は、大きな変革期を迎えています。主なものだけでも障害者虐待防止法の施行(2012年10月)、障害者総合支援法の施行(2013年4月)、国連・障害者権利条約の批准(2014年1月)などが挙げられ、さらに2016年4月からは障害者差別解消法が施行されます。このように、大きな岐路に立つわが国の障害者福祉制度が今後目指すべき方向について、ノーマライゼーションや共生社会といった基本理念を踏まえながら、考えていきます。

〈第2回〉 No.789 6月11日(土)  
子どもの貧困と  
子育て・子育て支援

山田 容 (本学社会学部准教授)

近年、子育てが家庭の貧困の広がりが顕在化してきています。この傾向は特に母子家庭に強く見られ、母親は就労に追われ、子育てに十分なエネルギーが注げない現実も見られます。日々の生活に追われる中で、生活の維持が優先されることは不思議ではありません。しかし、このような状況は、子どもの育ちにも影響が及び、看過できない問題です。もちろん、子育てにおける親の責任はありますが、これからの子育ては親とともに地域、社会がともに担うことが必要になってきています。そのための視点や展開について考える機会をもちたいと思います。

〈第3回〉 No.790 7月9日(土)  
回想法を学ぼう  
~「思い出」を今に活かす対人援助方法~

西川 淑子 (本学社会学部教授)

回想法は、1960年代にアメリカの精神科医であったロバート・バトラーによって提唱された高齢者に対する対人援助方法です。近年、高齢者施設でのケアはもとより、介護予防や自立支援に効果があると注目されて、さまざまな取り組みが各地で行われています。高齢者と心をつなぐ回想法をご一緒に学んで、あなたの周りの方々に実践してみませんか？  
思い出を何う私たちにとても大きな感動があります。

福祉フォーラム入会案内

福祉フォーラムは会員制の組織です。

- 年度会費/2,050円
- 申込方法/ホームページから手続き、または福祉フォーラム事務局までお問い合わせください。
- 申込先/ホームページ <http://www.soc.ryukoku.ac.jp>  
福祉フォーラム事務局 TEL.077-544-7291

会員特典

- 1.フォーラム事業(講座、フォーラム等)に会員割引にて参加出来ます。
- 2.本学教員と協力して、新しい研究会の企画や運営に関わることが出来ます。
- 3.福祉フォーラム通信をお送りいたします。
- 4.龍谷大学図書館(深草・大宮・瀬田)を利用できます。  
※図書館の利用には、別途手続きが必要で

福祉フォーラムは、会員の皆様と一緒に「福祉」について考えていきます。皆様のご入会をお待ちしております。

